

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7 年 7 月 14 日

神戸市長 宛

提出者

住所 名古屋市東区白壁 5－3

氏名 敷島製パン株式会社
代表取締役社長 盛田 淳夫
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 052-933-2111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	69J050 1080 敷島製パン㈱ 神戸工場・神戸冷食プラント
事業場の所在地	神戸市西区高塚台 7－2－1
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	0971 パン・菓子の製造・販売
②事業の規模	製造品出荷額 2,823 千万円（令和6年度実績）
③従業員数	479 人（令和7年6月現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	別紙の通り t	t
	（これまでに実施した取組） ・廃棄物の分別徹底 ・設備改善・メンテナンスによる不良品削減 ・汚泥処理変更による削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	別紙の通り t	t
	（今後実施する予定の取組） 引き続き、廃棄物の分別徹底及び設備改善・メンテナンスによる不良品削減に取り組む		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 工場内の保管場所を、廃プラ、廃プラ混載、金属くず等に区分けして各部所からの廃棄物を分別して保管している
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別を徹底させる

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙の通り t	t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙の通り t	t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙の通り t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙の通り t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	別紙の通り t	t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	別紙の通り t	t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙の通り t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 可能な限り、排出廃棄物のリサイクルを推進		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙の通り t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、排出廃棄物のリサイクルを推進		

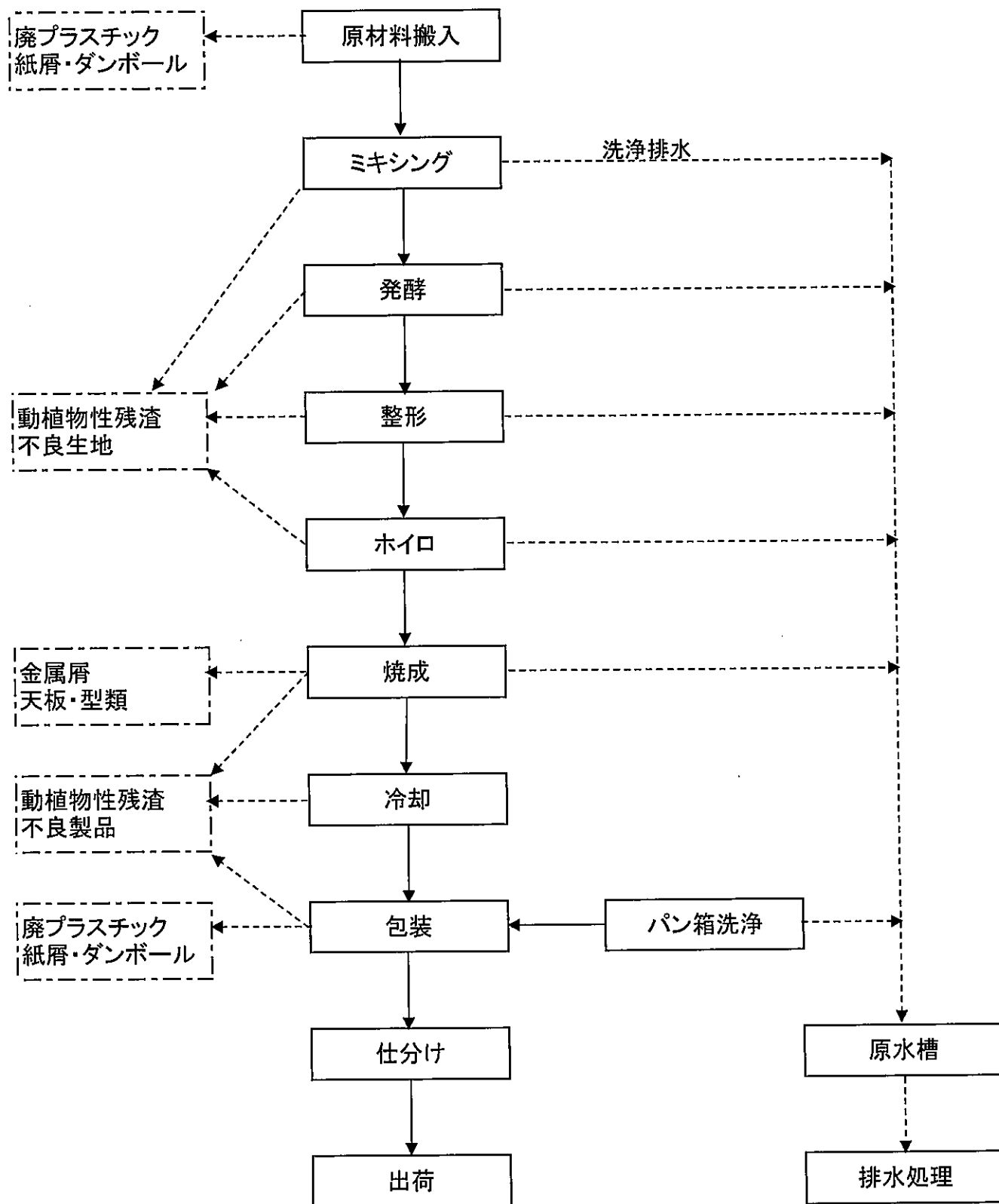
(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

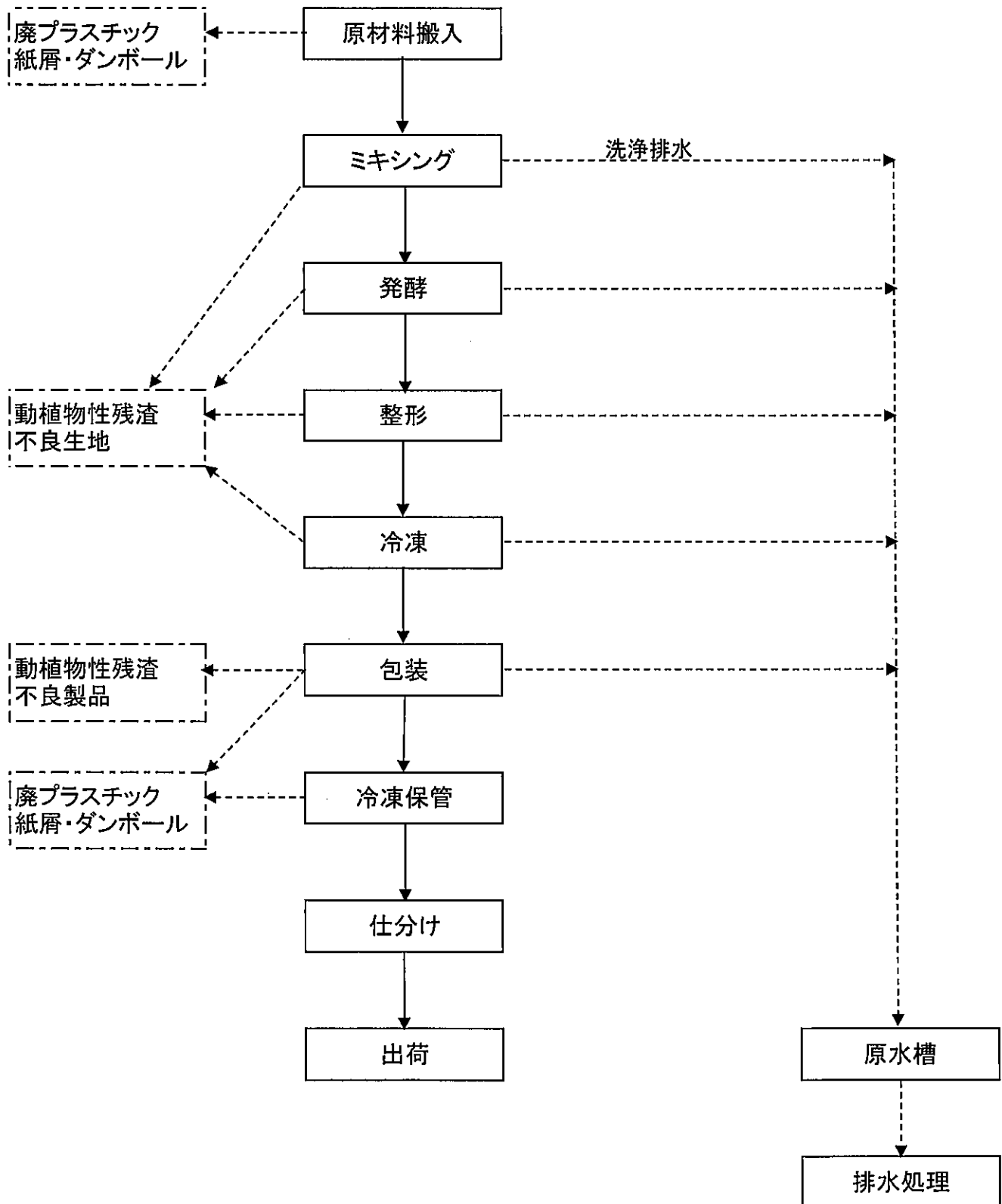
神戸工場生産フロー図

別紙1-1

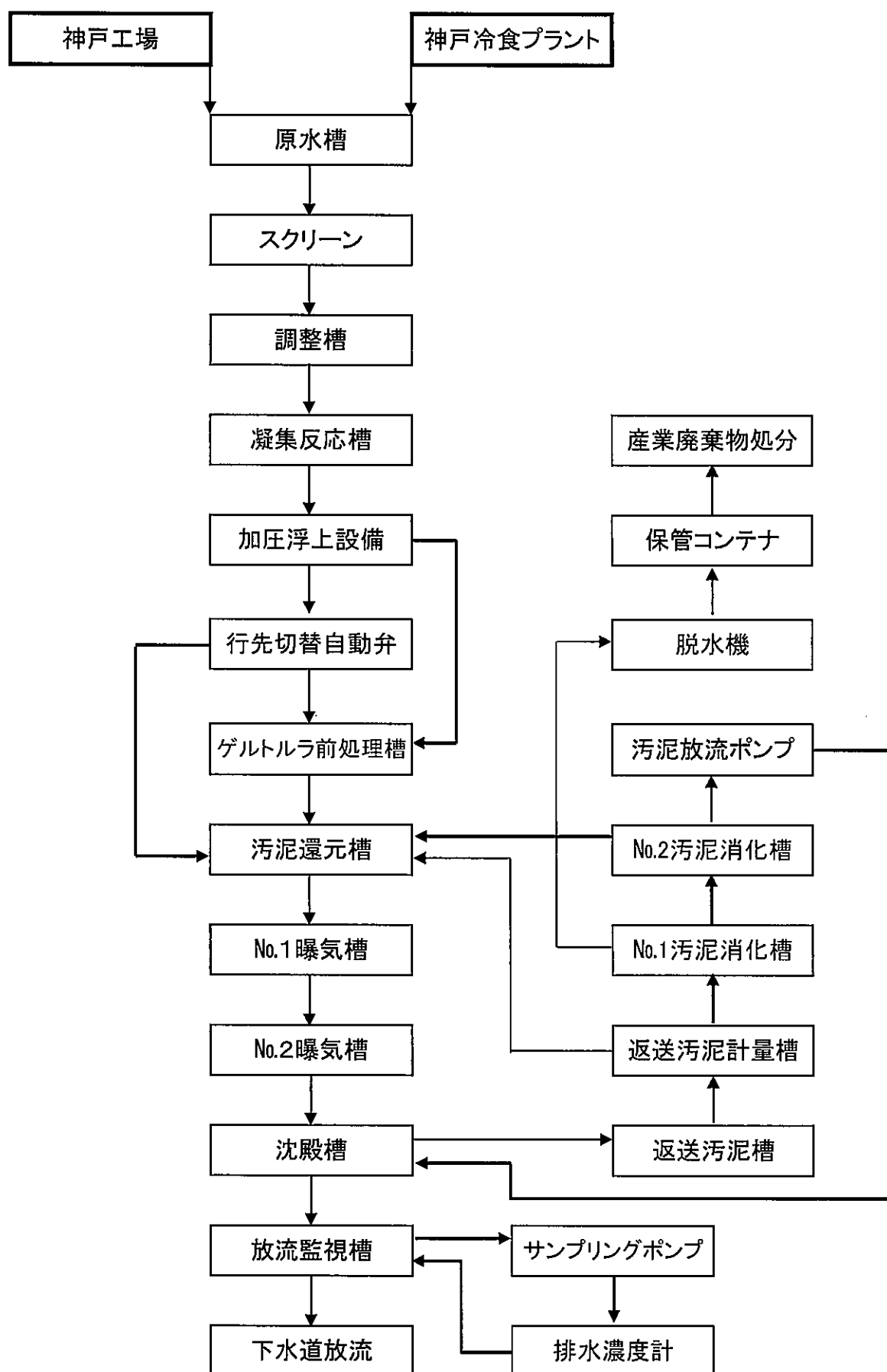


神戸冷食プラント生産フロー図

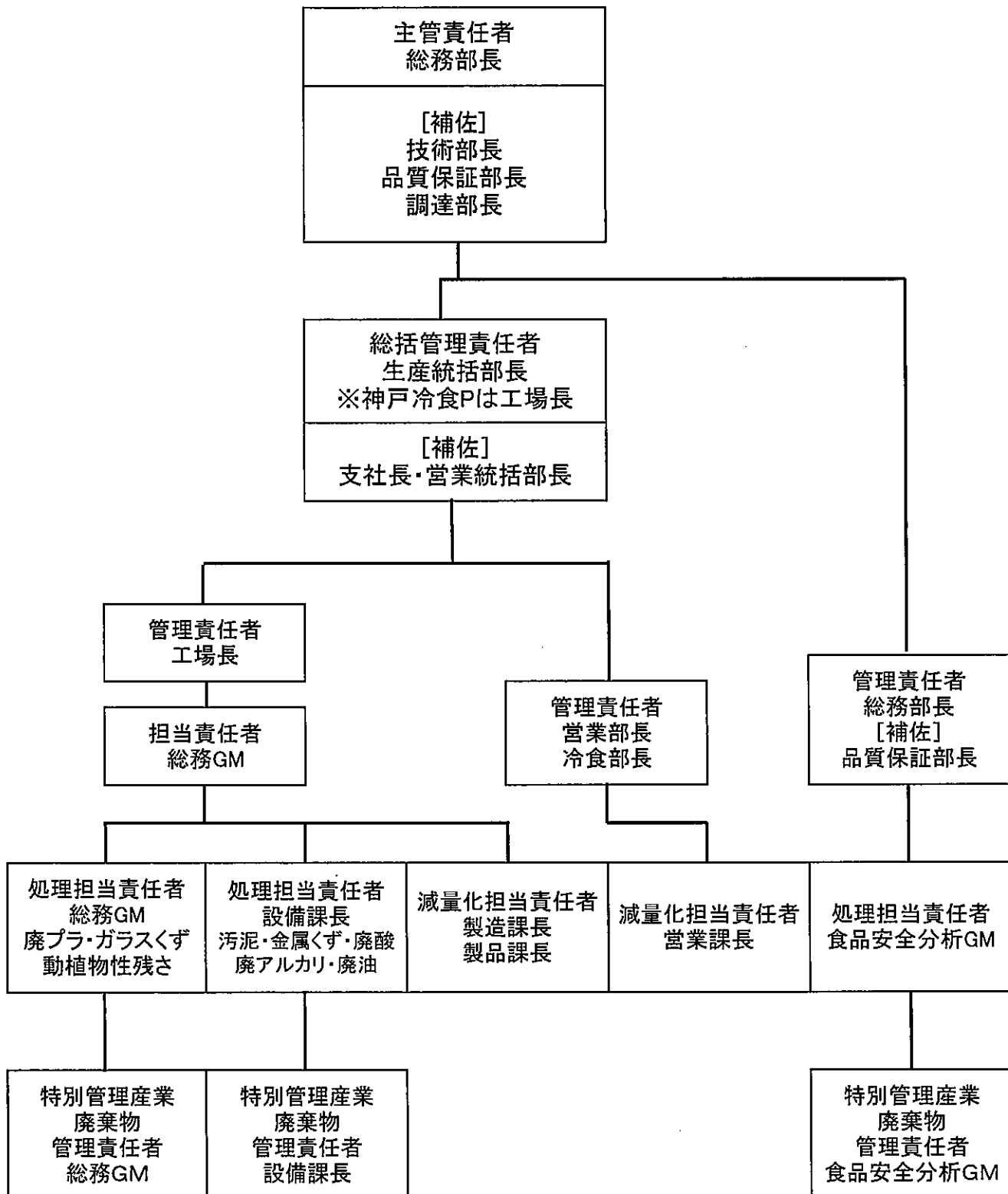
別紙1ー2



別紙1-3



産業廃棄物管理組織図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

○現状 前年度(令和6年度)実績

産業廃棄物の種類	0200汚泥	0600廃プラスチック類	1200金属くず	1000動植物性残さ	0400廃酸
排出量	19t	328t	81t	2004t	0t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	0200汚泥	0600廃プラスチック類	1200金属くず	1000動植物性残さ	0400廃酸
排出量	7t	306t	87t	1,817t	1t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

○現状 前年度(令和6年度)実績

産業廃棄物の種類	0200汚泥	0600廃プラスチック類	1200金属くず	1000動植物性残さ	0400廃酸
自ら再生利用を行った量	0t	0t	0t	0t	0t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	0200汚泥	0600廃プラスチック類	1200金属くず	1000動植物性残さ	0400廃酸
自ら再生利用を行った量	0t	0t	0t	0t	0t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

○現状 前年度(令和6年度)実績

産業廃棄物の種類	0200汚泥	0600廃プラスチック類	1200金属くず	1000動植物性残さ	0400廃酸
自ら熱回収を行った量	0t	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量した量	0t	0t	0t	0t	0t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	0200汚泥	0600廃プラスチック類	1200金属くず	1000動植物性残さ	0400廃酸
自ら熱回収を行った量	0t	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量した量	0t	0t	0t	0t	0t